

編集委員の選考会にて、来年（第52巻）のOTジャーナル表紙に選ばれた作品です。



1月号「犬（一富士、二鷹、三なすび）」

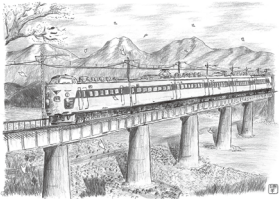
西淀病院入院患者一同

この作品はA4用紙を縦に8等分して巻いた紙を色付けして、台紙に貼って作りました。一番大変なのは紙を巻く作業で、6カ月かけて約2万5,000個作りました。片麻痺で手が動きにくい方や認知症、骨折の方など、さまざまな方にかかわっていただいています。完成したときには皆さん笑顔で喜んでいました。（担当OT：成田）



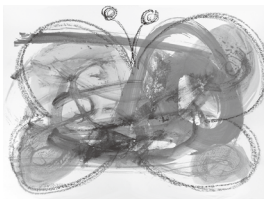
2月号「木蓮が咲いて」 太多和 浩

父が68歳で末期胃がんになり、私は父と共に具合が悪くなり、非定型精神病と診断されました。デイケアに通うようになって、散歩は生活リズムをつくるのに大いに役立ちました。私の町の木蓮は素晴らしく、白い花は辛夷より大きいようで、私の好きな米国的女性画家ジョージア・オキーフのように画面に大きく描いてみようと思いました。



3月号「春の鉄橋」 引野 学

統合失調症、うつで入院し、作業療法のプログラムの時間に描いた作品です。幼いころから乗り物が好きで、近所を走る鉄道を今は亡き父と一緒によく見に行きました。まさか作品が雑誌の表紙に飾られるとは思っていませんでした。かかわってくださったK先生、N先生他、関係者の皆様に感謝しております。ありがとうございました。



4月号「カラフルなチョウ」 高群尚樹

僕は絵を描くのは苦手です。でも描いたり、パズルの絵を塗るのは大好きです。先生に教えてもらいながら、大好きな黄色の絵の具で大きな円を4つ描いてから、いろいろな絵具を使って仕上げました。こんなチョウがたくさん飛んでくれたらいいなと思いました。これからも絵をたくさん描いて、苦手な絵にも挑戦したいと思っています。



5月号「迎春」 木本紅芭

今回の長期入院を機会に雑誌の表紙に応募できることを知りました。作業療法の時間に薦められたこともあって、好きな絵を描くことにしました。作品のテーマは「迎春」です。桜の花が開こうとしているころ、春の出会いと、鶯と少女が語り合う姿をイメージして描きました。



6月「グランドハイエース」 佐藤孝之

今年の目標は「たくさん絵を描くこと」とおっしゃっていた佐藤さん。ワンキーマウスという機器と1個のスイッチを使って絵を描いています。「いろいろな色を使って描きました」「グランドハイエースは、うちの車です」と作品へのコメントをいただきました。佐藤さんの頭や心の中のイメージをより一層表現できる手段を検討中です。（担当OT：渡邊、勝澤）

次年も募集致します。どうぞ、奮って御応募ください。（詳細は次頁をご覧ください）



7月号「ひまわり」 中山和彦

息子は花の絵が大好きです。私が買ってきた大輪のひまわりに、「にこにこ笑っているみたい。ひまわりさんこんにちは」と挨拶をしました。そして一気に画用紙に直接サインペンで形を描き、色鉛筆で2時間くらい集中して仕上げました。「たくさんの種や花びらの折り返った所や葉っぱの色を工夫したよ」と嬉しそうでした。（母）



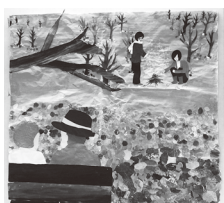
8月号「巨大入道雲 と 飛行機雲」 松本光治

頸髄損傷による全身性障害ながらも、リハビリにより理学・作業療法両先生のおかげ様で、趣味の絵を描く希望が叶いました。季節ごとに描いた水彩画と解説を病棟の廊下へ掲示される楽しみに、皆様より励まされ、力をいただく日々です。絵は、空に伸びる勢いをモチーフにし、入道雲の奥行きに雲母とパステルを使い表現しました。



9月号「舟」 甲斐秀一

甲斐さんはもともと絵を描くことが好きでしたが、脳出血にて利き手である右手の使用が困難となってしまいました。しかし半年以上のリハで利き手交換を行い、再び絵を描かれています。今回「さらに多くの方に作品を見ていただければ」との思いで応募されました。そのため表紙に選ばれたことをとても喜ばれています。（担当 OT：佐藤）



10月号「たき火」 医療法人西浦会京阪病院

男性一般病棟創作グループ「アートクラブ」一同

創作グループ「アートクラブ」では、さまざまな患者様が協力して一つの作品をつくっています。秋らしいテーマを話し合い、「落ち葉」、「たき火」になりました。また、たき火の様子を見ている老年の夫婦や若者を登場させました。完成作品は病院の玄関に飾られ、来院する方々の目を楽しめています。



11月号「統合失調症」 真下望実

この絵は自分のことを書いた詩に付けた絵です。
自分の心の中にもう一人の自分がいる気がした。
私の心は他人と少し形が違っていて、不思議って言われる。他の人と楽しくしゃべりたいけどうまく話ができない自分を描きました。



12月号「バースデーケーキ」 天元真由美

一般に12月のケーキといえばクリスマスケーキですが、わが家は12月24日はパパのお誕生日！ 25日がクリスマスと、2日続けてケーキを用意します。最近は娘たちも大きくなり、家族揃うことも少なくなり、このケーキを贈りたいと思いました。

私の負担をすべて受け止め、代わりにこなしてくれる主人に感謝。